

令和5年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立音戸中学校
(音戸中学校区)

全国平均値との差 (英語については、「話すこと」調査を除く)

	国語	数学	英語
呉市教育振興基本計画(指標)	+5.0	+5.0	
令和8年度	-	-	-
令和7年度	-	-	-
令和6年度	-	-	-
令和5年度	-4.8	-4.0	-2.6
令和4年度	-3.0	-4.4	-

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

<p>国語</p> <p>本校 65% 全国 69.8% 県 70%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎「書くこと」が全国平均と比較して低い。(正答率 本校 53.1%、全国 63.2%)。特に、読み手の立場に立って推敲する意図が理解することに課題がある(正答率 本校 35.4%、全国 54.3%)。また、「読むこと」の設問で表現の効果を正しく選択することに課題がある。(正答率 本校 47.9%、全国 63.0%)</p> <p>◇文章で問われていることに対して、その意図を読み取る力に課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎「書くこと」の学習で、推敲に力を入れる。自分の考えを伝える文章を書き、よりよい表現についてグループで話し合い、実際に推敲してその意図を共有する活動を取り入れる。また、表現の効果について話し合う学習を行う。</p> <p>◇多様な文章に触れ、紹介する活動を仕組む(読書紹介、スピーチ、パフォーマンス課題など)</p> <p>検証</p> <p>◎◇2学期期末テスト(第2学年、第3学年 11月) 設問3ー【書くこと】類似問題 正答率 50% → 結果 % 設問2二【読むこと】類似問題 正答率 60% → 結果 % 学年末テスト(第3学年 1月) 【読むこと】表現の意図 類似問題 正答率 50% → 結果 %</p>
<p>数学</p> <p>本校 47% 全国 49% 県 51.0%</p>	<p>重点課題</p> <p>◎「データの活用」が全国平均と比べて低い。(本校 38.2% 全国 48.5%) 原因として、データに関する用語を忘れている、データの分布の傾向を比較しているが、見るべき所を判断することに課題がある。</p> <p>◇目的に応じて情報を取り出して説明することに課題がある。</p> <p>改善の方策</p> <p>◎単元ごとに他学年の用語も復習し、記憶の定着を図る。その上で、その用語をどのように使うことができるか例題を用いて確認し、どのような問題でその用語を使えるのか判断できる活動を設定する。</p> <p>◇学習用語を例題の中で繰り返し活用し、目的に応じて使えるようにする。</p> <p>検証</p> <p>◎◇設問7(1)【データの活用】類似問題 目標 65% → 結果 % 設問7(2)【データの活用】類似問題 目標 35% → 結果 % (第3学年、2月)</p>
<p>英語</p> <p>本校 43% 全国 43% 県 45.6%</p> <p>※「話すこと」は、全国値のみ推定値</p>	<p>重点課題</p> <p>◎「聞くこと」の技能が全国平均と比べて低い。(本校 48.6% 全国 58.4%) 中でも、日常的な話題について、自分が置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題がある。(設問1-(3))【話すこと】(本校 31.3% 全国 41.2%)</p> <p>◇社会的な話題に関する文章を読み、その内容に関する考えとその理由を書くことに課題がある。(設問8-(2))【書くこと】(本校 18.8% 全国 19.5%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎自分の置かれた状況を把握できているか、何を聞き取ればいいのかを理解しているかを確認する。その上で、それらに関連する語句や表現に着目して、必要な情報を聞き取る活動を設定する。</p> <p>◇書き表したものを他者と比較し気づきを共有したり、内容や構成、表現方法について質問したりして、その内容を参考に推敲するなど、それぞれの言語活動を関連付けた段階的な課題を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎◇第3学年2学期期末テスト 設問1【話すこと】類似問題 目標 40% → 結果 % 設問8【書くこと】類似問題 目標 20% → 結果 %</p>

【来年度に向けて】